

審議関連情報について

社団法人
日本ネットワークインフォメーションセンター

Copyright (c) 2001 社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター

目次

2

1. 審議ってなに？
2. なぜ審議情報が必要か？
3. 審議での参考情報
 1. 全ネットワーク共通
 2. 家庭LAN/自社LAN
 3. サービス提供用
 4. サービス別

Copyright (c) 2001 社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター

審議ってなに？



必要なところへ必要な分だけ

- NWに対してのアドレス有効利用の確認作業
- 割り当て申請前にIP指定事業者によって行われる
 - Assignment Window内: LIR自ら
 - Assignment Window外: JPNICとの共同作業

JPNIC審議の目的

JPNICのホストマスターとの共同作業

- LIRがアドレス管理業務を習得し、自ら管理を行うことの手助け
- 指定事業者が「LIR」としてのスキルと自覚を身に付けることにつなげたい
 - AW: 指定事業者としての経験値
 - AW内の割り当て = LIRが自らの責任にて審議を行うことを一任

- そのネットワークに対して、申請されているアドレス数が必要とされる理由を理解するため
- 具体的な根拠に基づいて申請されているのか確認するため
 - 数だけではなく、ネットワークトポロジーや、機器構成や顧客情報（サービス提供用）などを参考とする

- LIRがネットワークの審議を行う際の参考情報
 - LIRのAW内のネットワークにも適応される
- 普遍的・絶対的なものではない
 - 現時点で、申請アドレス数の根拠理解に充分と考え得られる情報
 - 状況に応じて適宜変更されるもの
 - 接続先のプロバイダーが、ポリシーに基づいた割り当てを行うために、これから紹介する以外の情報を求める場合もある
 - すべてのネットワークにおいて適切とは限らな
- APNICのCATV/xDSL WGで検討中
 - こちらでの検討結果により、今後変更される可能性がある

- 全ネットワーク共通
- 家庭LAN 自社LAN
- サービス提供用
- サービス別

- ネットワークの用途
 - 自組織内のLAN用
 - ISP事業用
- ネットワークトポロジー
- セグメント毎のホストの内訳

- 機器の用途と内訳
 - PCにグローバルアドレスを付与する場合
 - プライベートアドレスが使用できない技術的な理由
- * 技術的な理由が確認できれば問題ない

以下のようなネットワーク構成の場合

- 直後：Mailサーバ、wwwサーバ、Firewall
- 半年後：DNSサーバを増設
- 1年後：変更なし



- 直後/半年後/1年後のホスト数：3/4/4
- サブネットは/29(6アドレス対応)

例えば・・・ ～ 自社LAN～（続）

- /29ほしいからホスト数を6を記載 ×
あくまでネットワークありき
- LANセグメントの機器の内訳 申請数の
 具体的な根拠の確認のために必要

ISP事業用

- 全サービス共通
- 常時接続を目的とするサービス
- サービス別

ISP事業用 ～ 全サービス共通～

ISP事業用 = 顧客数により必要アドレスが
影響される
顧客数を裏付ける情報なども教えてもらっている

サービス開始から現在までの顧客獲得実績
今後の顧客獲得計画

ISP事業用 ～ 常時接続を目的とするサービス～

動的なアドレス付与

- アドレス数：ユーザ数=1：1
「顧客数が証明できる資料」の提出

• 静的なアドレス付与

- アドレス数：ユーザ数=1：1
 - a) 「顧客数が証明できる資料」の提出 or
 - b) ユーザごとに割り当て報告
- アドレス数：ユーザ数=2以上：1

ユーザごとに割り当て報告

*行えない場合はその理由を提示

アドレス数：ユーザ数=1：1

静的であっても「接続提供用」としてISPのインフラとして見なされる

アドレス数：ユーザ数=2以上：1

そのユーザのNW用と見なされるため

- 顧客の一意性が証明できるもの
例)
 - 顧客リスト(顧客IDリスト等も可)
 - ホスティングサービス顧客のURLリスト
 - 顧客へ割り当て済みのIPアドレスリスト
 - ネットワークインタフェースカード等のMACアドレス
 - ケーブルモデム等のシリアル番号 など

サービスによりアドレスの利用形態が異なるため、確認方法が異なる部分もある

- ダイヤルアップサービス
- FLET'Sサービス
- CATV接続サービス
- バーチャルホスティングサービス

- POOLアドレスの算出根拠
例) -顧客獲得計画数に基づく PRI数算出
結果
-回線設置実績 + 計画など
- アクセスサーバ機器名及び機器設置実績
+ 計画

- 「常時接続を目標とするサービスの顧客用アドレス」を参照

- ケーブルモデム機器名及び機器設置実績
+ 計画
 - 機器名=収容ポート数、仕様確認のため
- 「常時接続を目標とするサービスの顧客用アドレス」を参照
- POOL する場合はその算出根拠

- HTTP1.1使用の有無
 - 世界的にHTTP1.1の使用が強く推奨されているため
- 使用しない場合
 - その技術的な理由
 - 技術的な理由によりグローバルアドレス 数: URL 数 = 1 : 1を用意する場合は「常時接続を目標とするサービスの顧客用アドレス」を参照

- 審議参考資料についてはJPNIC公開Webにも掲載
 - <http://www.nic.ad.jp/jp/faq/ip/q6570.html>

